

# 明治の日を実現しよう！

## ● 関連情報

第6号

発行 明治の日推進協議会（会長 塚本三郎）  
 国会担当 相澤宏明（090-7202-0139）  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町2-16-5 302 高池法律事務所気付  
 TEL・FAX 03-3305-8470  
 詳細は当会ホームページをご覧ください。  
<http://meizinohi.web.fc2.com>

# 「明治天皇百年祭・関西」盛大に開催

■明治天皇百年祭・関西に五百名集結！

平成二十四年七月二十九日、明治天皇崩御百年の前日にあたるこの日、大阪商工会議所ビル・国際会議ホールに於いて、関西「明治の日」推進協議会主催の「明治天皇百年祭・関西」が開催され、酷暑のなか、五〇〇名が集結した。

「明治天皇百年祭・関西」は、大前春代・兵庫県議会議員の司会進行の下、六月六日に薨去あそばされた寛仁親王殿下への黙祷、国歌斉唱で厳かに幕を開けた。はじめに主催者を代表して岡本幸治（大阪国際大学名誉教授）代表世話人が「どこの国におきましても、祝祭日とはその国の歴史を振り返って極めて重要な国民一同が祝う日。大阪における第一歩を」と挨拶。続いて、来賓を代表し、明治の日推進協議会参与で地元の前衆議院議員

西村眞悟先生が挨拶。「今こそ明治維新时期と同じように、このままでは我が国は滅びるという危機感の下、明治維新に匹敵する維新を行わなければならない。明治維新は幕藩体制からであった。現在は戦後体制からである。我が国はこのままでは消滅する。明治天皇崩御百年にあたり、われわれは戦後体制から脱却し、敗戦国体制から脱却し、被占領国体制から脱却し、日本国憲法体制から脱却して、明治の御代に戻らねばならない」と明治の御代を回顧する必要性を力強く語られた。

次に、竹中正安（桃山御陵参拝団副団長）世話人による明治天皇御製奉唱。自発的に起立・唱和によりこの日一番の盛り上がりとなるとともに、明治天皇の御聖徳に参加者一同思いを致すことができた。

続く記念講演は、作家・慶應義塾大学講師の竹田恒泰氏による

「玄孫が語る明治天皇」と題する貴重なお話となり、決議文採択へと移る。下記の決議文が万雷の拍手によって採択された。

関西「明治の日」推進協議会の濱野晃吉（関西防衛を支える会長）参与による閉会の挨拶と聖寿万歳で盛大に幕を閉じた。

関西での動きも名実ともにスタートを切った。「明治の日」実現に向けた国民運動が一層広がりを見せてくるのは確実だ。

開催にあたって、四十八の法人・団体などのご協賛を賜り、産経新聞・大阪日日新聞にご後援頂いた。



盛り上がる会場の様子

### 決議文

今を遡ること百年前の七月三十日、明治天皇は崩御あそばされた。十代半ばで御位を継がれてから四十五年あまり、明治天皇の下で国民が一致団結した結果、我が国は欧米列強による侵略をはねかえし、アジア随一の大国へと成長した。

昭和二年、かかる明治の御代を偲び奉る日として、明治天皇の御誕生日である十一月三日が「明治節」と定められたが、大東亜戦争敗戦後の日本弱体化政策により「明治節」という由緒ある呼称は廃止され、占領憲法の公布記念日として「自由と平和を愛し、文化をすすめる」ことを目的とする「文化の日」と改悪された。

それから六十有余年、奇跡的な復興を遂げて経済大国となったものの国民精神は弛緩し、諸外国の侮りを受けつつある。今こそ、我々国民は「明治時代を追憶し、わが国の近代化における苦難と栄光に思いをいたす」ことを通じて、精神的再建を果たさねばならない。そのためには、かつて「みどりの日」を昭和天皇御生誕の日由来する「昭和の日」と改称した前例に倣い、祝日法を改正することにより、「文化の日」を本来の由緒に基づく「明治の日」へと改める必要がある。

以上のような考えのもと、関西の国民有志が相集って「関西「明治の日」推進協議会」を結成して国会に対する請願署名活動を展開してきた。そして、本日ここに特別記念講演会「明治天皇百年祭・関西」を挙行し、明治天皇に対する追慕の念を新たにした。

今後とも、速やかに「明治の日」を実現すべく、国民に対する一層の啓発活動を展開し、勢力を結集して国会議員への働きかけを強化することに全力を尽くす。

右、決議する。

平成二十四年七月二十九日

「明治天皇百年祭・関西」参加者一同